

# チウラムへの土壌マトリックスの影響(2)

1. 環境試料のチウラム分析において、EDTAを添加することにより、共存物質の影響が減少

## ■プロトコル

土壌試料溶出液のアセトニトリル溶出液にチウラムを添加し、EDTA有無によるチウラムの安定性を確認した

### PS@Liq

コンディショニング

アセトニトリル 10 mL  
超純水 10 mL

← 土壌溶出液600 mL<sup>注1)</sup>  
← 10%EDTA溶液12 mL  
← pH3.5調整(塩酸1+10)

高速通液 50 mL/min

脱水 遠心脱水  
3000 rpm 10分

溶出 アセトニトリル3 mL  
⇒ 溶出液

← 標準液150 μL ← 標準液150 μL  
← 超純水20 μL ← 0.5%EDTA水溶液20 μL

定容

定容

上記溶出液で 1.5 mLに定容

上記溶出液で 1.5 mLに定容

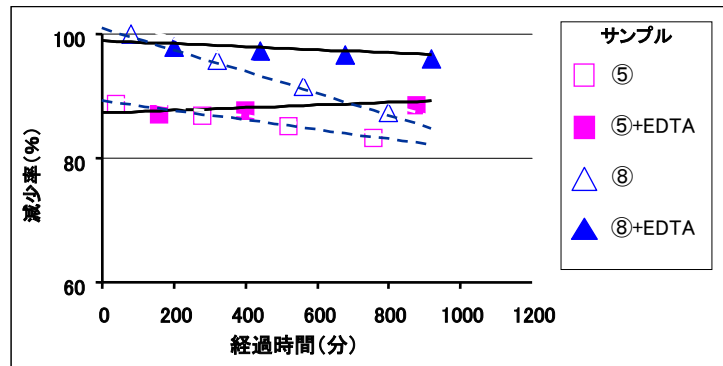
HPLC

HPLC

EDTA無添加

EDTA添加

チウラム濃度の経時変化に対するEDTAの影響 PS@Liq HQ



農薬成分名	標準液濃度	添加量
チウラム	3 μg/mL	0.3 μg

■参考法令 平成3年環境庁告示第46号<sup>注1)</sup> 昭和46年環境庁告示第59号

■出典 八木有寿\*、管雅英\*他 第15回環境化学討論会 講演要旨集p202-203 2006年  
\*株式会社オオスミ